

新人月別活動計画

<p>新人研修の目的 1 基礎看護技術を習得し、正確かつ安全な看護実践ができる 2 同僚やほかの医療従事者、患者・家族との良好なコミュニケーションが図れる。</p>				
<p>新人研修の目標 (1) 看護実践に必要な基礎看護技術を習得する。 (2) 病棟の雰囲気・勤務体制に慣れる (3) 困ったとき・不安なときに相談できる (4) 患者・家族とのコミュニケーションが取れる (5) 自己の健康管理ができる</p>				
月	時期	学習内容	部署のサポート	看護部のサポート
4	集合研修 4月1日～ 4日	社会人・職業人としての常識的な行動 岐阜県総合医療センターの概要 看護部概要 薬品・麻薬管理 看護倫理と個人情報保護法 接遇 安全管理 感染管理 退院調整・病診連携 新人研修について		集合教育 研修医オリエンテーションと一部一緒に行なう
	集合技術 研修 7日～11 日	体位変換 移動 輸液管理 導尿・留置カテーテル インスリン製剤の種類と用法副作用 採血 寝衣交換 フィジカルアセスメント 感染防止技術 など		集合教育 別紙
	部署配属 13日～	配属部署のオリエンテーション 受け持ちをもたず、繰り返し基礎看護技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・環境調整技術 ・清潔衣生活援助 ・食事援助技術 ・電子カルテ ・歩行介助 ・体位変換 ・電法 ・尿器便器介助 おむつ交換 ・浣腸 ・導尿 ・膀胱内留置カテーテルの挿入と管理 ・経口薬、外用薬の与薬 ・スタンダードプリコーションの実施 ・必要な防御用具 ・医療廃棄物の規定の沿った適切な取り扱い ・滅菌物の扱いと不潔物品の扱い ・患者誤認防止の手順に沿った与薬 ・転倒転落防止策の実施 ・針刺し防止対策の実施と針刺し事故後の対応 ・注射 筋肉内、皮下、皮内注射 静脈内注射、点滴静脈内注射 側管注 ・症状生体機能管理技術 バイタルサインの観察とアセスメント 静脈血採血・採尿と検体の取り扱い 血糖値測定 パルスオキシメータによる測定 など 	新人 2～4 名にプリセプター1 名がついて技術指導 ①実際を見せる ②プリと一緒に実施 ③見守りで一人で実施 日々の振り返り プリセプター面接 新人支援会議	集合研修 ・看護診断と看護記録 担当：看護記録委員会 ・同期の語らい 4月 日
5		日替わりで指導者ともに患者1～数名を受け持ち基礎看護技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ・入院時の看護（入院確認～指示確認実施） ・退院時の取り扱い ・中心静脈内注射の準備と介助、管理 ・インスリン製剤の種類と用法副作用の観察 	部署の新人研修計画に沿って実施 日勤リーダーの主導でスタッフによる直接指導 日々の振り返り アドバイザー面接	集合研修 ・看護診断と看護記録 担当：看護記録委員会

6		<ul style="list-style-type: none"> ・抗生物質の用法と副作用 ・薬剤などの管理（毒薬・麻薬・劇薬、血液製剤含む） 休日勤務 ① 指導者とともに実施 1回 夜勤研修 ① 早出（6:00～）遅出（13:00～）各1回 ② 準夜（16:00～）深夜（0:30～）各1回 ③ 指導者とともに2交代夜勤実施 1回	新人支援会議 基礎看護技術チェック表を確認	同期の語らい 5月 日
		徐々に部署の特殊性を習得し、日替わりで患者数名を受け持ち、看護実践能力の向上を図る。 日勤業務でのひとり立ちを目指す 休日・夜勤の実施 新人の状況により休日メンバーとなる 夜勤 ①指導者とともに夜勤実施：2回以上（新人の状況による）	リーダー（夜勤・日勤）の主導でスタッフによる直接指導で学習 新人支援会議 部署師長面接 基礎看護技術チェック表を確認	集合研修 ・褥瘡防止対策 担当：WOC 同期の語らい 6月 日
7 ～ 8		日常的に遭遇する多重課題への対応を考える 休日・夜勤の実施 夜勤メンバーとなる 休日メンバーとなる 休日夜間非常時マニュアルについて 基礎看護技術の習得・部署独自の技術習得	リーダー（夜勤・日勤）の主導でスタッフによる直接指導 師長による説明 新人支援会議	集合教育 ・多重課題の対応 担当：新人研修担当者 ・災害時の対応 災害訓練に参加 担当：新人研修担当者 同期の語らい 7月 日
9 ～ 10		救命救急センター・手術室研修開始 各1週間 ・急性期の看護の特殊性について学ぶ ・受診から入院の一連の流れを知る ・基礎看護技術の習得 吸引 酸素吸入 輸血 人工呼吸器の管理 救命救急処置技術 心電図モニターの装着、管理 基礎看護技術の習得 部署独自の技術習得	リーダー（夜勤・日勤）の主導でスタッフによる直接指導 部署師長面接（9月） 以降毎月新人支援会議 基礎看護技術チェック表を確認	集合研修 ・救急時の看護 担当：救急看護認定看護師 ACLS委員会 同期の語らい 9月 日 基礎看護技術チェック表を確認し、必要な支援を検討する
11		プライマリーナースを体験する 他部門他職種との連携 ケースカンファレンスへの積極的な参加	ケースカンファレンスへの積極的参画を支援	集合教育 ・輸血時の看護 担当：輸血部 同期の語らい 11月 日
1	まとめ	1年間のまとめを行い、次年度の課題を明確にする	基礎看護技術チェック表を確認	集合教育 ・1年間のまとめ 担当：新人研修担当 基礎看護技術チェック表を確認し、必要な支援を検討する

※ 新人は「臨床研修看護師」の名札をつける。4月～9月の時期と救命センターと手術室の研修時

※ 10月一般病棟の新人看護師はセンター系で、センター系の新人看護師は一般病棟で1日研修を行う。